

東北地域における宇宙関連産業振興に係る 広域連携に向けた検討について

2025年9月

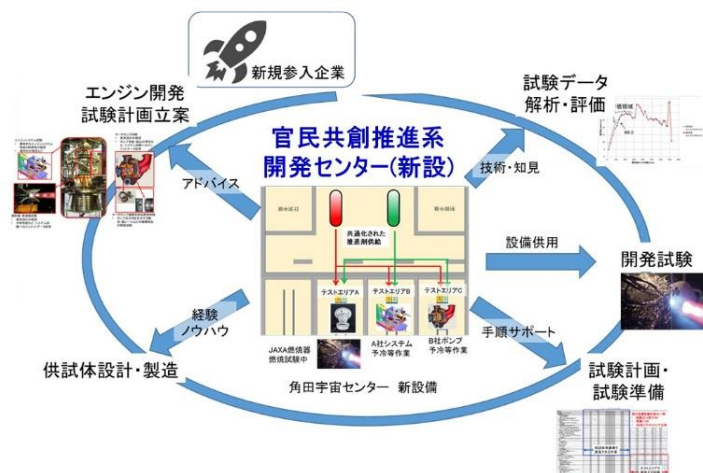
東北経済産業局

東北における宇宙産業への期待

- 東北地域では、JAXA角田宇宙センターや能代ロケット実験場が立地しており、宇宙産業に必要不可欠なロケットエンジンの開発、実証試験の環境が整備されている。
- また、東北大学発のニュースペース企業等、宇宙関連産業への参入の動きが活発化。

JAXA角田宇宙センター

- 日本の液体ロケットエンジン研究開発を行うため、1965年に開設。
- 民間事業者のエンジン開発推進のため「官民共創推進系開発センター」を整備し、コーディネートや情報提供、試験設備の供用や試験技術の提供を主な機能として設定。



JAXA能代ロケット実験場

- ロケットモータの地上燃焼試験を行うため、1962年に開設。
- 固体燃料、液体水素燃料ロケットエンジンの燃焼試験、N2O／エタノール推進系燃焼試験や要素試験等、各種の野外実験にも利用。



福島県浜通り地域におけるニュースペース企業の集積

- 福島県浜通り地域では、「福島イノベーション・コースト構想」の推進に伴い、重点分野である航空宇宙関連企業の集積が進展。
- 南相馬市では福島ロボットテストフィールド等の実証拠点が整備され、ニュースペース企業が多く立地。また、民間主体で南相馬航空宇宙産業研究会が組織され、地域企業と立地企業間の交流環境も構築。

株式会社ElevationSpace

- 2021年創業。東北大学発ベンチャー企業。
- 大気圏への再突入・回収技術を基礎として、宇宙空間での研究開発や製造の成果を地球に回収するサービスや、宇宙空間における拠点からの高頻度回収サービスを展開。



AstroX株式会社

- 2022年創業。本社は南相馬市。
- 気球を使用した空中発射方式（Rocket + Balloon = Rockoon方式）での衛星打ち上げロケットを開発。



宇宙関連産業振興に係る広域連携に向けた検討

東北経済産業局、角田市、能代市及び南相馬市の3市における広域連携の検討

- 宮城県角田市、秋田県能代市には、JAXAのロケットエンジン開発、燃焼試験の拠点が整備されており、既にロケットエンジン開発等に係る試験が可能な環境。
- また、福島県南相馬市は、ニュースペース企業をはじめとする宇宙関連企業が集積しており、地域企業との取引も生まれつつある状況。
- しかしながら、宇宙関連産業に求められる技術水準は極めて高い。また、液体ロケットエンジンの燃料となる水素の利活用等、他産業にも波及効果が期待されるため、その振興を1つの地域のみで行うことは難しい。そのため、宇宙関連産業振興の機運が高い角田市、能代市及び南相馬市と東北経済産業局で、広域連携の検討を実施。
- 宇宙関連人材の確保及び育成、宇宙関連の実証試験環境の整備、その他周辺産業への波及効果等について検討を進めるとともに、地域経済への波及効果の拡大を目指す。
- なお、東北経済産業局では、令和7年度中小企業実態調査委託費（東北地域におけるニュースペース企業の成長加速化及び宇宙産業の拠点形成に向けた可能性調査事業）により、宇宙関連の試験施設の立地を通じた経済波及効果を調査中。その調査結果も踏まえつつ、検討を進めていく。



令和7年度東北経済産業局調査事業

背景及び目的

- 今年度、東北経済産業局は東北地域における宇宙産業の拠点形成の可能性を検証することを目的として、「令和7年度中小企業実態調査委託費（東北地域におけるニュースペース企業の成長加速化及び宇宙産業の拠点形成に向けた可能性調査事業）」を実施。
- 調査では、今後期待されるロケット打ち上げ能力の強化および高頻度化に際して、ロケット事業者や関連する宇宙企業への支援のみならず、周辺に燃焼試験施設等の実証試験施設及び様々な設備の集積が必須と考えられることから、国内の実証試験施設等の立地状況調査、想定ユーザー企業等へのヒアリング調査等を行い、産業集積に必要とされる施設・設備の調査・整理を行うとともに、事業環境整備について検討。
- また、宇宙関連産業の集積により見込まれる経済効果について、実証試験施設運営やロケット製造及び部品製造といった宇宙関連産業がもたらす直接的な経済効果のみならず、周辺地域におけるエンジニア等関係者来訪等から派生する間接的な経済効果（宿泊・飲食業、小売業、周辺観光業等）についても算出。
- 上記調査をとおして、事業環境整備の検討や具体的な経済効果の算出によって、宇宙産業への将来的な予見可能性を高めることで、地域の宇宙関連産業集積に対するインセンティブ及び地元企業の宇宙関連産業への参入意欲を醸成し、サプライチェーン構築の下地を形成。